

学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

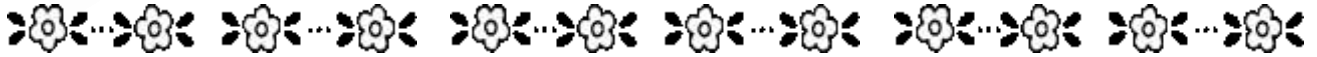
令和4年4月22日



三ツ境小だより 5月号

横浜市立三ツ境小学校

学校長 遠山 松雄



新緑の季節を迎え

校長 遠山 松雄

新学期がスタートして三週間余りが経過しました。4月は気温差の大きい一か月で、夏を思わせるような日もあれば、冬に逆戻りしたような寒い日もありました。そうした中でも花壇の花々は花を開き、私たちを癒してくれています。通勤の道々、歩きながら色とりどりの花が楽しませてくれています。校内でも、2年生が育てたチューリップが色鮮やかに咲き、緑遊会の方々にお世話をいただいている花壇には何種類もの花が開き、心豊かな気分になります。登校時の児童の挨拶の声にも癒されます。7日に入学した1年生も上級生に負けないくらい元気よく挨拶をしています。毎日の心結会の方々の支援や給食ボランティアの保護者の方にも支えられ、少しずつ三ツ境小学校になじんできました。校舎を巡回していると、新学期がスタートして緊張感の中にも新しいクラス、新しい学年で気持ちも新たに日々の授業や様々な活動に取り組むそれぞれの児童のやる気や意欲が伝わってくるようです。

間もなく5月になります。♪夏も近づく 八十八夜♪ 2日には八十八夜を迎え、茶の産地では新茶の摘み取りが行われます。5日には立夏、新緑の季節を迎えます。以前、この季節に訪れた京都の三千院で見た鮮やかな青紅葉が思い出されます。今年のゴールデンウィークもまだ遠出は控えるつもりですが、新緑のさわやかな季節にたっぷりとマイナスイオンを吸収して、しっかりリフレッシュをしたいものです。先日、巡回中にある教室から「鉄道で旅をしたい」という声が聞こえてきました。ここ数年、鉄道の旅から遠ざかり寂しい思いをしていましたが、その発言を聞き大きく頷いてしまいました。江戸時代に松尾芭蕉が奥の細道の旅に出発したのが5月16日（旧暦の3月27日）だそうです。気候的にも旅に適した季節と言えるのでしょうか。取るもの手につかず、芭蕉のようにぶらっと旅に出たい気分になります。ゴールデンウィークは地図を広げて旅気分を味わいたいと思います。子ども達には、旅に出てその土地での出会いや触れ合いを通して、様々なことを吸収してほしいと思います。

4月15日、18日、21日に実施をしました授業参観、学年懇談会には多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。22日からは家庭訪問を実施しますので、ご協力お願いします。

ゴールデンウィークが明けると三ツ境スポーツフェスティバルの練習が始まります。異学年との交流も本格的にスタートします。今年も演技は低中高に分かれて、競技はペア学年で行います。互いに教え合い、学び合う姿を大切にしていきたいと思います。昨年同様、当日は保護者の方1名での参観としますが、本番の週に低中高ごとに行う演技の公開練習を予定しています。本番では見られない、児童が教え合い学び合う姿をご覧いただきたいと思います。

これから、熱中症が心配になる時期を迎えます。今後は気温や湿度の状況を見ながら、必要に応じてマスクの着脱など、コロナ対策と並行して対策を講じていきたいと思います。

☆三ツ境スポーツフェスティバル☆

- 1 日時 令和4年5月28日(土) 8:50~12:30 *雨天順延
2 場所 本校 校庭
3 内容 「走」競技 団体演技 団体競技 代表リレー 応援合戦

☆コロナ感染拡大防止のため、昨年同様保護者の方の参観は、各家庭1名となります。
☆コロナの状況に応じ、分散開催、または延期になる場合もありますので、ご了承ください。
☆詳細は、後日配付する「三ツ境スポーツフェスティバルのお知らせ」をご覧ください。

「セクシャル・ハラスメント」相談窓口

わいせつ行為やセクハラ防止のため、児童・保護者の相談窓口を設けています。
お悩みのときには、ご相談ください。

<校内窓口>

児童支援専任 吉田 潤哉
養護教諭 太田明日華

<一般教育相談>

教育総合相談センター
671-3726

三ツ境スタンダードの確認のお願い

新しい学年がスタートし、半月余りたちました。各クラスや学年での生活にも少しずつ慣れてきたころかと思います。

先日、「学校生活の手引き」をお配りしました。その中の三ツ境スタンダード(望ましい生活の仕方や約束を記したもの)をご覧ください。ご家庭でも生活や持ち物の約束をもう一度確認していただきますようお願いいたします。

専任 吉田より

新しい学年になり、1か月が過ぎようとしています。期待と不安が入り混じった4月7日を迎え、学校生活がスタートしたことと思います。

ご家庭での子どもたちの様子はどうでしょうか。毎日笑顔で過ごせているでしょうか。多くの子どもたちは、家庭と学校で見せる顔が違うと思います。家の外で多少の緊張感をもちながら1日を過ごし、家に帰ってくると、ほっとした気持ちから様々な表情や行動を見せることでしょう。学校という場で1日に6~7時間もの社会生活を重ねている子どもたちは、自覚・無自覚にかかわらず、とても疲れていると想像できます。

4月は、新しい環境に適應していく過程で、家族に話したいことがたくさんあるはずですが、ぜひ子どもたちと話をする時間をつくってみてください。自分から話すことが苦手なお子様もいるかと思いますが、家族と一緒に過ごす時間を意識して設定していくことで、ぽつりぽつりと思い出したように話してくれることと思います。とは言いつつも、私自身、日々の生活の中で十分に我が子と過ごす時間がつくれていないと言われると……。なかなか難しい問題ですね。大人がせかせかと動いている時ほど、子どもたちはその空気を察し落ち着かなくなることがあります(個人的にも多々経験しております)。子どもたちの環境は周囲の大人がつくれます。大人自身が余裕をもち、日々の中に楽しみを見付け、心にゆとりをもちながら子どもたちを育てていきたいものです。

子どもたち一人ひとりのかかわりを大切に、子どもたちが本音で話ができる雰囲気づくりに努めていきます。今月もよろしくお願いたします。

☆今年度のAET・IUIの紹介☆

今年のAETの先生はフィリピン出身のエンジェル先生です。
国際理解教室(IUI)は、中国出身のナツ キンエ先生です。
英語でのコミュニケーションを通して、楽しく外国の文化に触れる機会をつくっていきます。